

団体名(正式名称)

特定非営利活動法人 藤前干潟を守る会



代表者名	亀井浩次
担当者名	戸茆辰弥
住所	〒455-0855 名古屋市港区藤前2-202 藤前干潟活動センター
電話番号	080-5157-2002
FAX番号	052-309-7261
HPアドレス	http://fujimae.org/
代表メールアドレス	info@fujimae.org
交通アクセス	・稲永ビジターセンター:あおなみ線「野跡駅」 ・藤前干潟活動センター:三重交通バス「南陽町藤前」
職員数	常勤職員2名 その他9名
団体の活動理念	日本最大級の渡り鳥渡来地であり、それを支えるゆたかな干潟生態系を持つ藤前干潟と関連する環境の保全と修復をはかり、その多様な魅力にふれあう機会を増やし、人もその中で生かされているいのちのつながりとはたらきを学び、そこがゴミで埋められようとされながら長年の市民活動によって守られ、それを転機に、215万都市名古屋のゴミ行政を画期的に転換し、循環型社会への出発点となった歴史的・社会的意義を広く伝え、良好な地球環境の維持と持続可能な社会の形成に寄与することを目的とする。
団体の活動内容	藤前干潟での環境学習活動を中心に行っています。 ・環境省施設(稲永ビジターセンター／藤前干潟活動センター)の管理運営業務 ・「干潟の学校」の実施:一般公募型の干潟の観察会 ・「干潟体感学習」の実施:団体向けの干潟の観察会と講座 ・「ガタレンジャーJr.」の実施:小学4年生～中学生対象の子ども向け環境学習 ・「ガタレンジャー養成講座」の実施:干潟のボランティアガイドの養成講座 ・「藤前フォーラム」の実施:藤前干潟の環境、保全の歴史等を中心とした座学 ・「ダイシャクシギ」の発行:会員向けのニュースレターの発行 その他、藤前干潟での調査活動、クリーンアップ活動なども実施しています。
活動中の感染防止策	・観察会等イベントの開催時間の短縮および参加定員を通常の半数程度にする。

特定非営利活動法人 藤前干潟を守る会

プログラム名	藤前干潟から「いのちのつながり」を伝える。			
インターン生の 活動内容(概要)	<p>私たちNPO法人藤前干潟を守る会は、藤前干潟の保全の歴史。そこに見える環境保全のメッセージを多くの人に伝え、藤前干潟とその流域、生物多様性を保全する活動を展開しています。</p> <p>「干潟の学校」(干潟の観察会)や、小学4年生～中学生の子どもを対象とした「ガタレンジャーJr.」など、子ども相手の活動が多いです。子どもが好き、野外活動が好きな人にはうってつけの活動です。</p>			
	活動のテレワーク比率	<input checked="" type="checkbox"/> ～20%	<input type="checkbox"/> 21～49%	<input type="checkbox"/> 50～79% <input type="checkbox"/> 80%～
インターン生の 活動内容(詳細)	<p>【オフィス・フィールドでの対面活動の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤前干潟で行われる野外イベントの補助(準備と後片付け、イベント中の安全確保など) ・藤前干潟のセンター(稲永ビジターセンター／藤前干潟活動センター)の管理運営業務の補助(清掃、展示物の作成、出張イベントの補助、資料整理など) 			
	<p>【テレワークでの活動内容】</p> <p>基本的にフィールドでの対面活動を想定しています。感染拡大時など対面活動ができない場合の業務は、状況を見ながら相談のうえ決定します。</p>			
インターン活動で 得られるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・干潟の環境や生物に関する知識 ・干潟や海の環境問題についての知識 ・干潟で実施されている野外プログラムについての知識 ・子どもを対象とした環境学習プログラムについての知識 			
インターン生への 希望・期待	<p>干潟の環境や生きものについての特別な知識は必要ありません。</p> <p>干潟でのイベントには子どもが多く参加します。子どもの目線になって、一緒に干潟で遊んでくれる、お兄さん、お姉さんになってほしいと思います。</p>			
活動期間	2023年6月～2024年1月			
活動時間	<p>9:00～16:30</p> <p>※藤前干潟のセンターは毎週月曜日と第3水曜日が休館となります。</p> <p>※イベントは休日に行われるため、土日祝日に出られる人を希望します。</p>			